

首相 官邸の前で

総理官邸前
Sorikantel

山形国際ドキュメンタリー映画祭
ともにある Cinema with Us 2015
正式出品

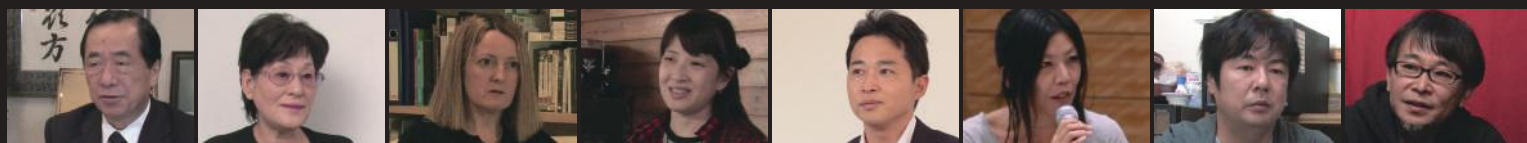
Tell the Prime Minister

[English Subtitled Film]

あなたがここに、いたならば

You can find yourself in this film

著作で数々の賞をうけた歴史社会学者の小熊英二、初の映像監督作品



[企画・製作・監督・英語字幕] 小熊英二 [撮影・編集] 石崎俊一 [音楽] ジンタラムータ [英語字幕校正] デーモン・ファリー

[出演] 菅直人 / 亀屋幸子 / ヤシタ・ヒン / 吉田理佐 / 服部至道 / ミサオ・レッドウルフ / 木下茅 / 小田マサノリ ほか

[配給・宣伝] アップリンク (2015年 / 日本 / 109分 / 日本語 [英語字幕つき])

Direction, Production, English Subtitles: Eiji OGUMA Shooting, Editing: Syunichi ISHIZAKI Music: Jinta-Ra-Muta Proof Reading of English Subtitles: Damon Farry

Cast: Naoto KAN, Sachiko KAMEYA, Jacinta HIN, Risa YOSHIDA, Norimichi HATTOR, Misao Redwolf, Chigaya KINOSHITA, Masanori ODA

Presented by UPLINK Co. (2015 / Japan / 109min / Japanese [English Subtitled]) ©2015 Eiji OGUMA

www.uplink.co.jp/kanteimae



スタッフ総勢2名、企画決定30分

「映画を作ろうじゃないか。監督と出資は俺で、撮影と編集は君だ」。そこから製作は始まった。

無償提供された自主撮影映像を編集

ネット上で探した自主撮影映像を、撮影者の賛同と協力のもとづき多数使用。現場映像だけが持つ生の迫力。

世代・国籍・出身・地位、全てがちがう8人の体験

原発事故の恐怖、運動の台頭、首相との会談までの経緯を、元首相を含む8人のインタビューで構成。

2012年夏、東京。約20万の人びとが、首相官邸前を埋めた。NYの「ウォール街占拠」の翌年、香港の「雨傘革命」の2年前のことだった。しかしこの運動は、その全貌が報道されることも、世界に知られることもなかった。

人びとが集まったのは、福島第一原発事故後の、原発政策に抗議するためだった。事故前はまったく別々の立場にいた8人が、危機と変転を経て、やがて首相官邸前という一つの場につどう。彼らに唯一共通していた言葉は、「脱原発」と「民主主義の危機」だった――。

はたして、民主主義の再建は可能なのか。現代日本に実在した、希望の瞬間の歴史を記録。

After "Occupy Wall Street" in New York, and before the "Umbrella Revolution" in Hong Kong, 200 thousand people surrounded the Prime Minister's office in Tokyo for an anti-nuclear demonstration. However, this movement was not reported extensively by the media and subsequently went unnoticed by the world.

This documentary film captures the anti-nuclear protests in Tokyo after the Fukushima nuclear incident in March 2011. The theme of the film is the crisis that democracy faces, and the reconstruction of democracy.

The film describes how people from diverse backgrounds converged amidst the crisis. The videos cited in the film were shot by independent citizens and uploaded to the internet. A groundbreaking film created in a unique and unprecedented manner.



「私は、この出来事を記録したいと思った。この映画の主役は、映っている人びとすべてだ」 小熊英二

小熊英二 (おぐま・えいじ)

慶應義塾大学総合政策学部教授。福島原発事故後、積極的に脱原発運動にかかわり、メディア上での発言も多い。2012年の著作『社会を変えるには』で新書大賞を受賞。他の著作に『単一民族神話の起源』(サンリオ学芸賞受賞)、『〈民主〉と〈愛国〉』(大仏次郎論壇賞、毎日出版文化賞)、『1968』(角川財団学芸賞)など。映像作品の監督は今回が初めてだが、脱原発運動の参加によって得た信用のため、映像提供など多くの協力を得ることができた。



2015年12月15日 (火) 鹿児島大学郡元キャンパス共通教育棟1号館4階 Common Room 2
14:40～開場 14:50～15:00 趣旨説明 15:00～16:50 作品上映 17:00～18:00 トークシェア
ゲスト：小熊英二 (Skype出演) モデレーター：中路武士
問い合わせ：鹿児島大学中路武士研究室 (099-285-8909) (nakaji@leh.kagoshima-u.ac.jp)